

海外派遣者選考委員会報告（第53回総会以降）

1. 会合

(1) イリノイ大学モーテンソンセンターでの研修に関する打合せ

- a) 日 時：平成18年7月21日（金）
- b) 場 所：京都大学附属図書館
- c) 参加者：
 - 1) 私立大学 私立大学図書館協会図書館国際協力委員会委員長館（関西大学）
平成18年度派遣予定者（立命館大学）
平成17年度派遣者（明治学院大学）
 - 2) 国立大学 国立大学図書館協会海外派遣者選考委員会委員長館（京都大学）
平成18年度派遣予定者（広島大学）
- d) 内 容：平成15年度より同一プログラムに職員を派遣している私立大学図書館協会と情報交換を行なうとともに、派遣予定者と経験者との研修体験の交流を実施

(2) 委員会

- a) 日 時：平成18年10月26日（木）
- b) 東北大学附属図書館
- c) 協議題 海外派遣事業の実施期間延長の提案
平成19年度派遣者の募集・審査スケジュール

2. 平成18年度海外派遣者の動静

- イリノイ大学モーテンソンセンター・アソシエイツ・プログラム（8週間）
庄 ゆかり（広島大学）
平成18年9月7日（木） - 11月2日（木）の期間受講予定

（注）諸外国の先進的な図書館活動、施設等に関する調査・研究は、該当者なし

3. 関係申請書式の改正案の提案

海外派遣者審査専門委員会からの下記指摘事項について審議した結果、申請書式の改正案、募集に当たっての補足説明文案ならびに募集スケジュール案を作成し、「海外派遣事業応募要領の一部改正等について（報告）」（平成18年9月7日付 京大図総総第204号）により会長に報告した。

- (1) 審査に必要な情報として、申請書、推薦書への追加記載項目
- (2) 面接の必要性

なお、改正案は会長受理を持って決定とされ、現在平成19年度派遣者を募集中である。

4. 平成19年度海外派遣者の募集スケジュール(3年計画の2年目)

平成18年 9月 8日 国大図協第18-43号により会長名で募集通知
12月31日 応募締切り

5. 海外派遣事業延長の提案

海外派遣事業は平成20年度で終了する予定であるが、人材育成・確保のために極めて有効であり重要である。この認識に基づき、人材委員会での検討を経て、財源確保等の前提があるものの、平成21年度以降も3～4年間にわたり更に海外派遣事業を延長することを理事会に提案することとした。

6. 委員名簿(人材委員会と同じ構成) : 委員長

大 平 具 彦 北海道大学附属図書館副館長
北 村 明 久 東北大学附属図書館事務部長
植 松 貞 夫 筑波大学附属図書館長
関 川 雅 彦 東京大学附属図書館情報管理課長
青 木 利根男 東京学芸大学学術情報部情報管理課長
早 瀬 均 名古屋大学附属図書館事務部長
大 埜 浩 一 京都大学附属図書館事務部長
長 坂 みどり 京都大学附属図書館総務課長
平 元 健 史 大阪大学附属図書館事務部長
片 山 俊 治 広島大学図書館部学術情報企画課長
益 森 治 巳 長崎大学学術情報部学術情報管理課長
貝 田 辰 雄 国立情報学研究所開発・事業部企画調整課長

事務局：京都大学附属図書館

人材育成担当理事館：北海道大学附属図書館、京都大学附属図書館、大阪大学附属図書館

7. 参 考

(1)「海外派遣事業応募要領の一部改正等について(報告)」(平成18年9月7日付 京大図総総第204号)

(2)「海外派遣事業の延長について(提案)」海外派遣者選考委員会